

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	現在、9名の入居者のうち成年後見制度を利されているのは1名のみ。「成年後見制度」の名称は耳にした事はあるが、制度への理解は理解できていない職員の方が多いと思われる。	職員への制度の理解を深める。また、適切に制度が活用できるよう支援できる体制を確立したい。	学習会を早速開催する。また実際に制度を利用されている方に話を伺うのも良いかと思われる。	1～2 ヶ月
2	5・6	【身体拘束をしないケア】については、「事故防止のため」「人員不足だから」等の理由付けで安易に正当化していないか？拘束について正しく理解できているか？【虐待防止】については、「親しさと馴れ合いの区別」を意識した日常ケアが出来ているか？	日頃の介護場面の中で行動を制限したり、拒絶につながるような言動がない。また、入居者に不快な思いをさせない職場環境を作る	「緊急やむを得ない場合の身体拘束」については、問診形式の資料を取り入れての学習会を開催し、「虐待」については、高齢者虐待防止法第2条(2006.4)に基づき、虐待の種類・防止への意識啓発等再学習を行なう。	2～3 ヶ月
3	16	重度化・終末期について、家族には契約時に説明はしているが、近年、入居者が重度化や終末期を迎えられる。という事例が無い為、実体験としての職員の意識が薄い。	重度化・終末期のケアについて継続学習する。	1.正しい知識と対応・主治医との連携と処置についての学習を行なう。 2.家族との相互理解 ・医療的処置の限界の理解 ・希望に添った支援とケア	3～4 ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。